

平成30年度 進路だより

わくわくワーク 第2号

平成30年8月28日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

本校では、児童生徒が将来自分らしく社会生活を送るために、一人一人に応じた進路選択ができるよう支援していきたいと考えています。この「わくわくワーク」では、一人一人の進路実現に向けて、学校での進路支援の様子や最新の進路先・福祉制度などの情報を分かりやすくお伝えしていきます。記事の内容についてご家庭でも話題にいただいたり、もっと知りたいことを学校に伝えていただいたりして、進路についての考えや知識を深めるきっかけになれば幸いです。

(教頭 鍛治本園子)

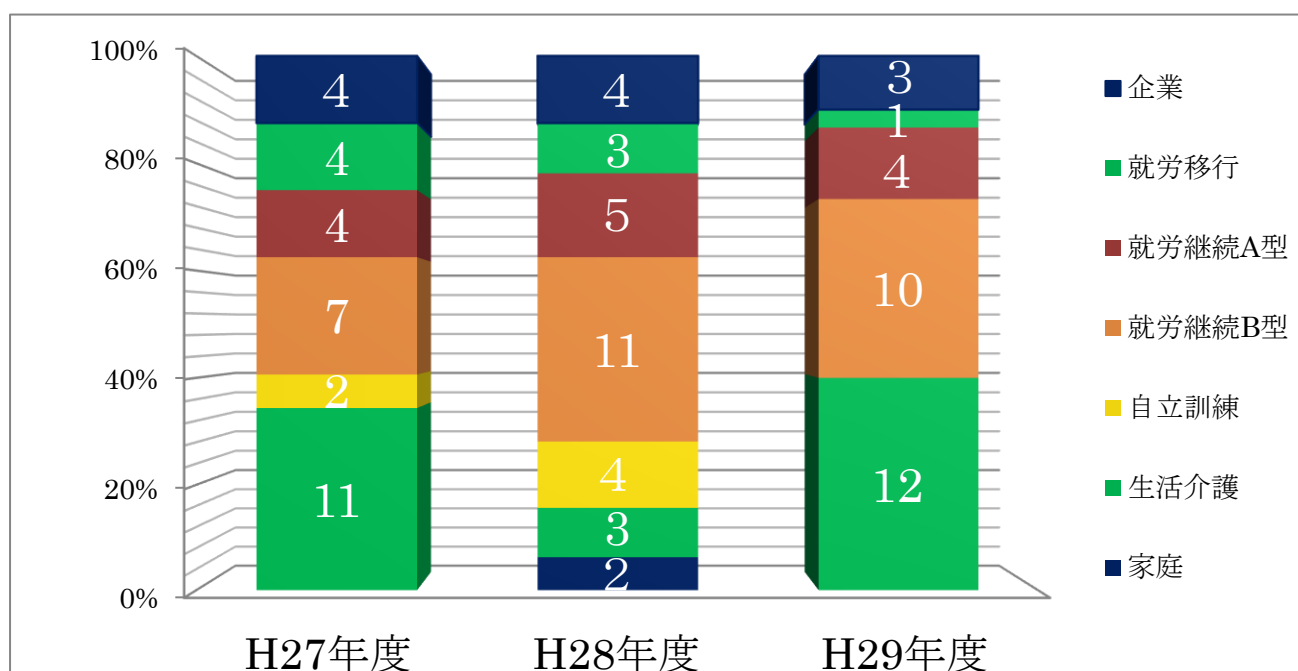
進路状況について

本校では、児童生徒が学校教育全体を通して生きる力を高め、一人一人の自立と社会参加が実現することを目指して、家庭や関係機関と連携を取りながら進路支援を進めています。

高等部を卒業した生徒たちの進路状況や進路先での定着状況についてお伝えします。

下図は、本校の卒業生がどのような進路先を選んだのか、過去3年間の進路状況のグラフです。横軸は卒業年度、数字は進路別の生徒数です。上から一般企業、就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、同B型事業所、自立訓練事業所、生活介護事業所、家庭を示しています。このグラフから見て分かるように、多様な進路先を選択しています。進路先選択の際には、仕事及び活動内容、自宅からの距離、送迎の有無、定員など様々な条件を考慮し決定しています。高等部では校外就業体験を4回行いますが、その前にどのような進路先があるのか情報収集することがとても大切です。

過去3年間で卒業後選択した進路先の定着率は、27年度 90.8%、28年度 91.4%、29年度 100%となっています。移行支援事業所から一般企業へ進んだ、進んだ進路先で課題があり別の事業所が変わった、などが進路先変更の理由になっています。



第1回高等部就業体験 (6月6日~19日)

就業体験は子供たちの将来の進路を考える上で非常に大切な学習活動です。一人一人の自立と社会参加に向け、ステップアップできた体験となりました。その様子を報告します。

1年生 校内就業体験（手芸班の取組）

＜内容＞ビーズ通し、布染色、小物作り（刺し子、ミシン掛け）

＜手芸班担当教員より＞

就業体験中は、ポーチやバッグ用の布に刺し子をしたり、カーテンタッセルやキーホルダー用の革にビーズを通したりしました。丁寧に縫ったり、正確にビーズを通したりして、それぞれの目標に向けて意欲的に作業に取り組みました。2週間で、仕事を続ける力が身に付きました。



2年生 社会福祉法人恵風会 多機能型事業所 このみ

＜内容＞じゃがいもの皮むき、食器片付け、部品種分け

＜実習の様子 担任より＞

じゃがいもの皮むき作業は、回数を重ねるごとに上手になり、毎日皮むきの数が増えていきました。皮むきだけではなく、いも洗いの準備も手伝いました。部品の仕分けは、形を確かめ、速いペースで種別ごとに分けることができました。



社会福祉法人白皇山保護園 ひまわりの郷

＜内容＞部品の線はずし、線切り

＜実習の様子 担任より＞

ネット帽子を被り、ニッパを使って線切り作業をすることができました。新しいことに挑戦しましたが、支援員さんの声掛けに応じて、落ち着いて、よい表情で取り組むことができました。

3年生 日本海綿業株式会社

＜内容＞タオルの仕分け、タオル・カバー畳み、袋詰め

＜実習の様子 担任より＞

暑い部屋の中で、一日立ち仕事を頑張りました。タオル畳みでは、自分から表裏の確認、枚数の確認をして正確に仕事をすることができました。任された仕事に責任をもって取り組むことができました。



株式会社こころ ほまれの家 大久保店

＜内容＞シール貼り、袋詰め、商品運搬

＜実習の様子 担任より＞

指示を聞いて、「はい」「分かりました」等はきはきと返事をしたり、失敗したときはすぐに「すみません」と謝って報告をしたりすることができました。作業に集中し、黙々と取り組むことができました。